

## 第37回道本部委員会

# 2019年春闘方針を決定 石川知事候補勝利へ全力で

2月17日、第37回道本部委員会で2019年春闘方針、北海道知事選挙闘争方針などを満場一致で決定しました。

森国委員長はあいさつで「勤労統計などは政府の政策判断の材料となるものであり、その不正は安倍政権の国民だましの本質だ。労災保険給付などで建交労の組合員にも影響が出る。ネット上では〈ギソウ・ネツゾウ・アベシンゾウ〉という言葉がとびかっている。この安倍政治を終わらせるチャンスが統一地方選挙と参議院選挙だ。石川ともひろさんが野党統一候補に決まり、私たちの知事の誕生に手が届くところに来ている。建交労のたたかいも新たな前進がある。春闘・組織拡大・選挙勝利にむけてがんばろう」と訴えました。

提案された議案にもとづく討論では、北海道新幹線工事でのダンプの「使用促進」のとりくみ、建設部会からは公共工事積算労務単価の引き上げ、社会保険の加入義務化、週休2日工事拡大などの中で建設労働者の労働条件改善にむけた現場調査のとりくみ、トラック部会からは「人手不足」を活用した賃金引き上げと選挙闘争、組織拡大への決意、臨時職員の正社員化を求める職場でのとりくみや、「健康相談会」など労災認定と組織拡大のとりくみなどが報告されました。

## 道春闘共闘が総決起集会 建交労から宮澤書記次長が発言

2月15日、札幌で北海道春闘共闘が「2019年春闘決起集会」を開きました。集会では9人が発言し、各単産の重点課題にもとづくたたかいの報告と決意が述べられました。建交労からは道本部の宮澤書記次長が発言し、要求アンケートのとりくみの重要性や「無期転換」などで他の労組との交流で刺激を受けた経験から地区労連の役割について強調しました。

## 今度こそ道政の転換を

### 明るい会が石川ともひろさんの推薦を決定

「明るい革新道政をつくる会」(明るい会)は2月17日に臨時総会を開催して、今年の北海道知事選挙で石川ともひろさんを推薦することを正式に決定しました。中央直結・道民不在の道政からの転換のために、石川さんの当選のために全力でたたかう方針を確認しました。

この総会に先立って、午前中には道労連の「単産・地域代表者会議」が開かれ、道労連としても石川ともひろさんの推薦を決定しました。